

アバターやメタバースを活用したモデル校での授業事例

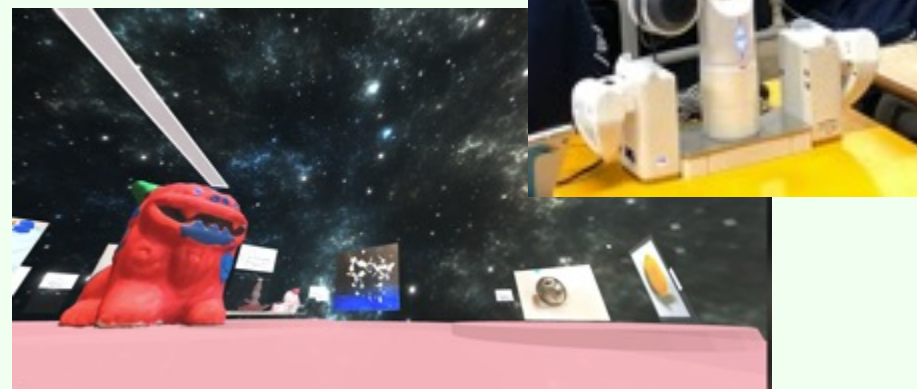
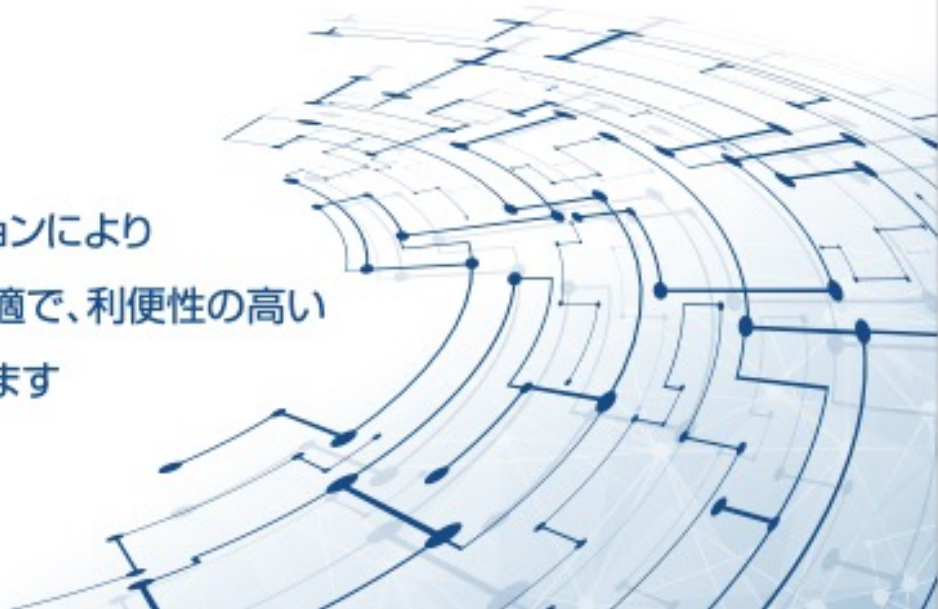
2023年12月8日

一財) ニューメディア開発協会

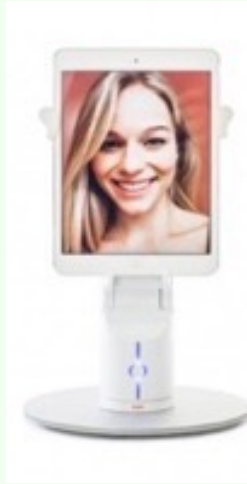
一般財団法人
ニューメディア開発協会

ご案内

ITイノベーションにより
安全・安心、快適で、利便性の高い
社会を実現します



アバターとは？



- アバターロボット
- メタバースでのアバター
- デジタルツインでのアバター

今、自分がいる場所ではない場所に
自分が化身（アバター）として存在し、
自分がリモートで操作

今日お伝えしたいこと

アバター利用について

- 子どもの学校生活の様々な現場で使われ始めている
- 特別支援学校のみならず、一般校での利用も有効
- 身近なところで気軽に始められる

アバターロボット



病室を教室に変える「テレロボ」とは？

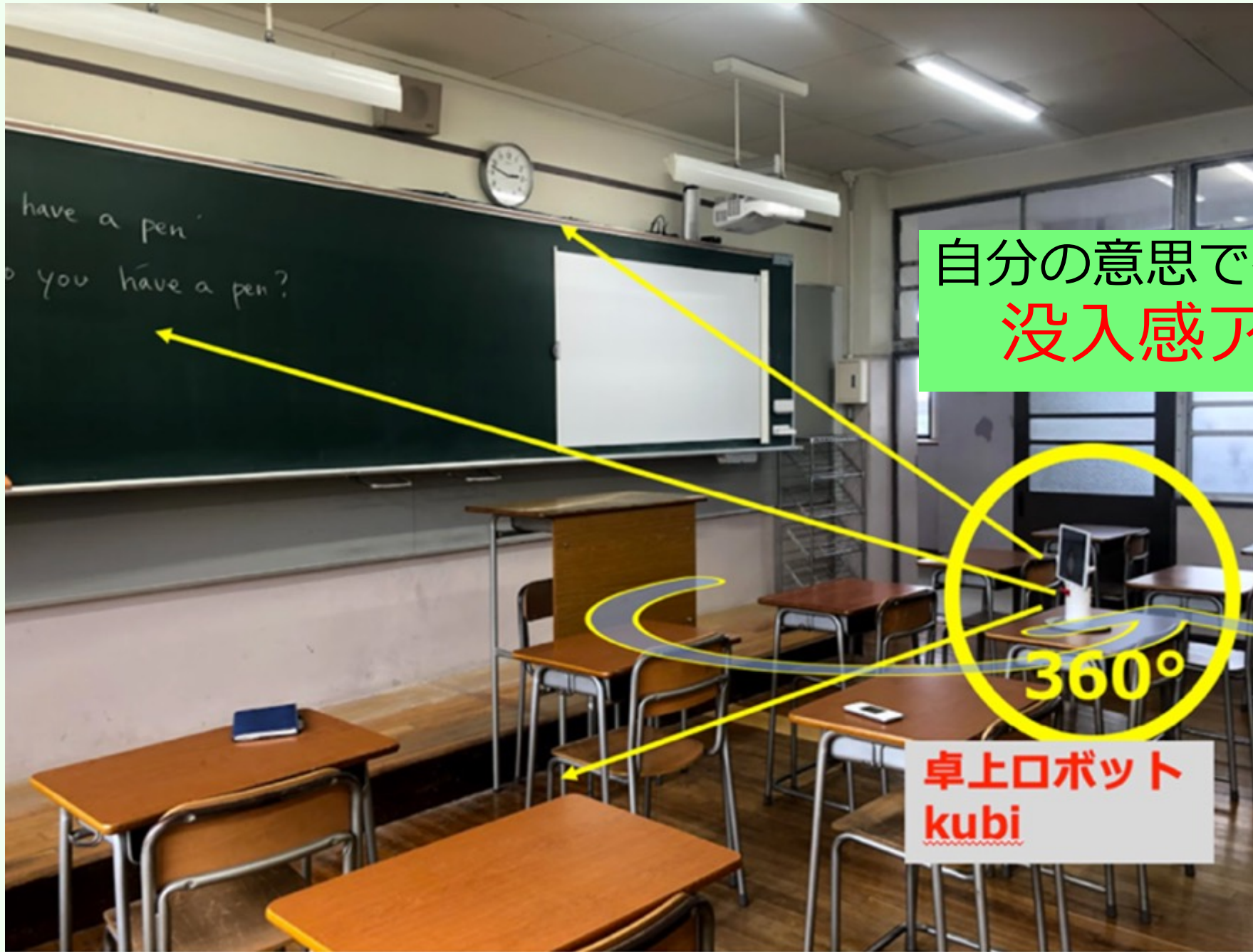


様々なタイプのアバターロボット

VIRTUAL

REAL





自分の意思で操作
没入感アップ

- ・ 見る方向・拡大
- ・ 発言
- ・ 意思表示

卓上ロボット
kubi

学校／病院での実証実験と検証（授業とワイガヤ）



メタバース

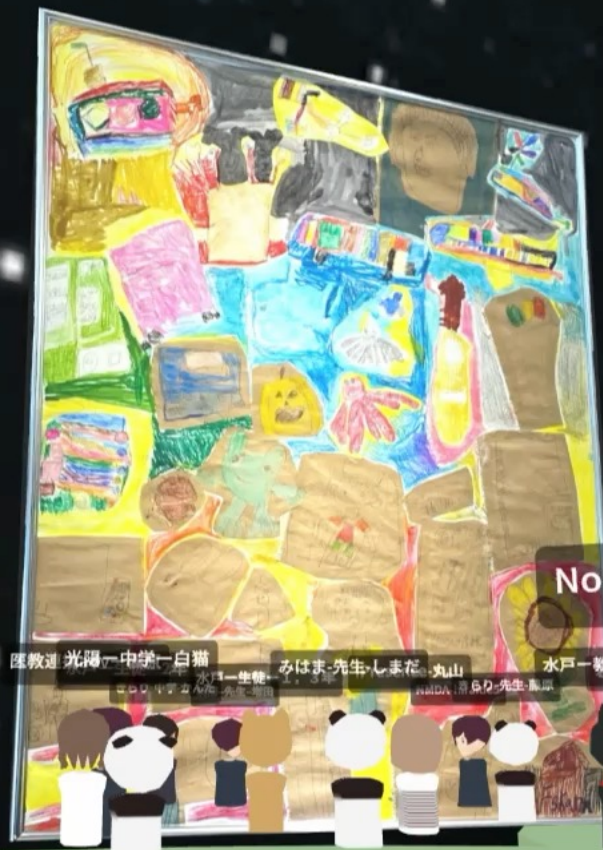


多摩桜の丘_いさかがロビーに入りました。



J-10
 テーマ名: 「僕が見ているもの」
 作者: 中2 ゲーマー
Kyou-先生-やま
 学校名: 秋田きらり支援学校

説明: 入院中に、毎日1枚か2枚ずつスケッチブックに描いたものを、大きなキャンバスに集めて作りました。最初は見たものを描いていました。だんだん、想像で描けるようになり、色もカラフルになっていきました。



Northern-Pintail-1...
 J-6
 テーマ名: 3Dプリンター作品『マイクラフト 豚』
 作者: 中2生徒
光陽-中学-サポート
 学校名: 光陽中学校
 説明: 『マイクラフトのキャラクター』を3Dプリンターで印刷して、立体的なオブジェを組み立てながら完成させました。

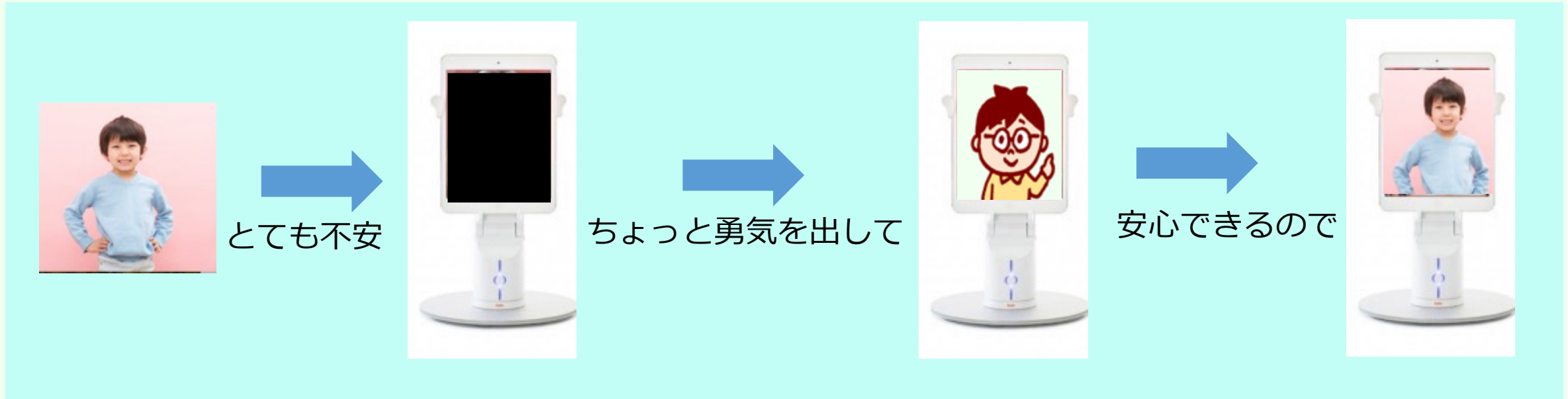


デジタルツイン



最後に

アバターは自分のペースで自分を表現できる



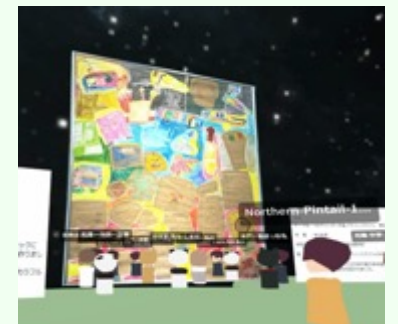
メタバース



見るだけ



アバターで参加



話してみる

活動の目的

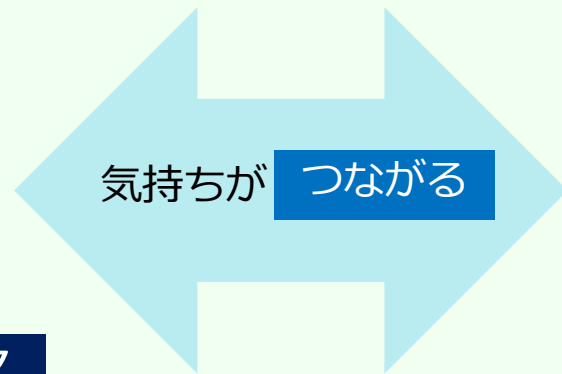
病気療養、発達障がい、肢体不自由、不登校などの 子どものペースに寄り添った学校生活参加 支援

アバターを使いワクワクする新たなコミュニケーションを創出し、
ソーシャルスキルをアップ (= 子どもの社会活動の場の拡大)



自分のペース
安全 & 安心

主体的・対話的で深い学び



安心! & 元気!



子どもの 限られた「一時」を大切に

ご興味のある方、一緒に活動に参加いただける方ご連絡をお待ちしております。

メールアドレス： **一財) ニューメディア開発協会** **NMDA-SJG@nmda.or.jp**



メール発信用QR

END